

# 特別支援学校に着目した 障害者スポーツへのアクセシビリティの向上支援

大学生ボランティア

「特別支援学校スポーツすすめ隊」制度の設立

立教大学松尾ゼミナールB

鈴木翔太 伊藤美咲 加茂健太

草野有香 小林美咲 杉山愛梨

# 目次

- 1.はじめに
  - 2.障害者スポーツと特別支援学校
  - 3.特別支援学校の現状
  - 4.障害者スポーツとアクセシビリティ
  - 5.支援策
  - 6.期待される効果
- まとめ

# 1.はじめに

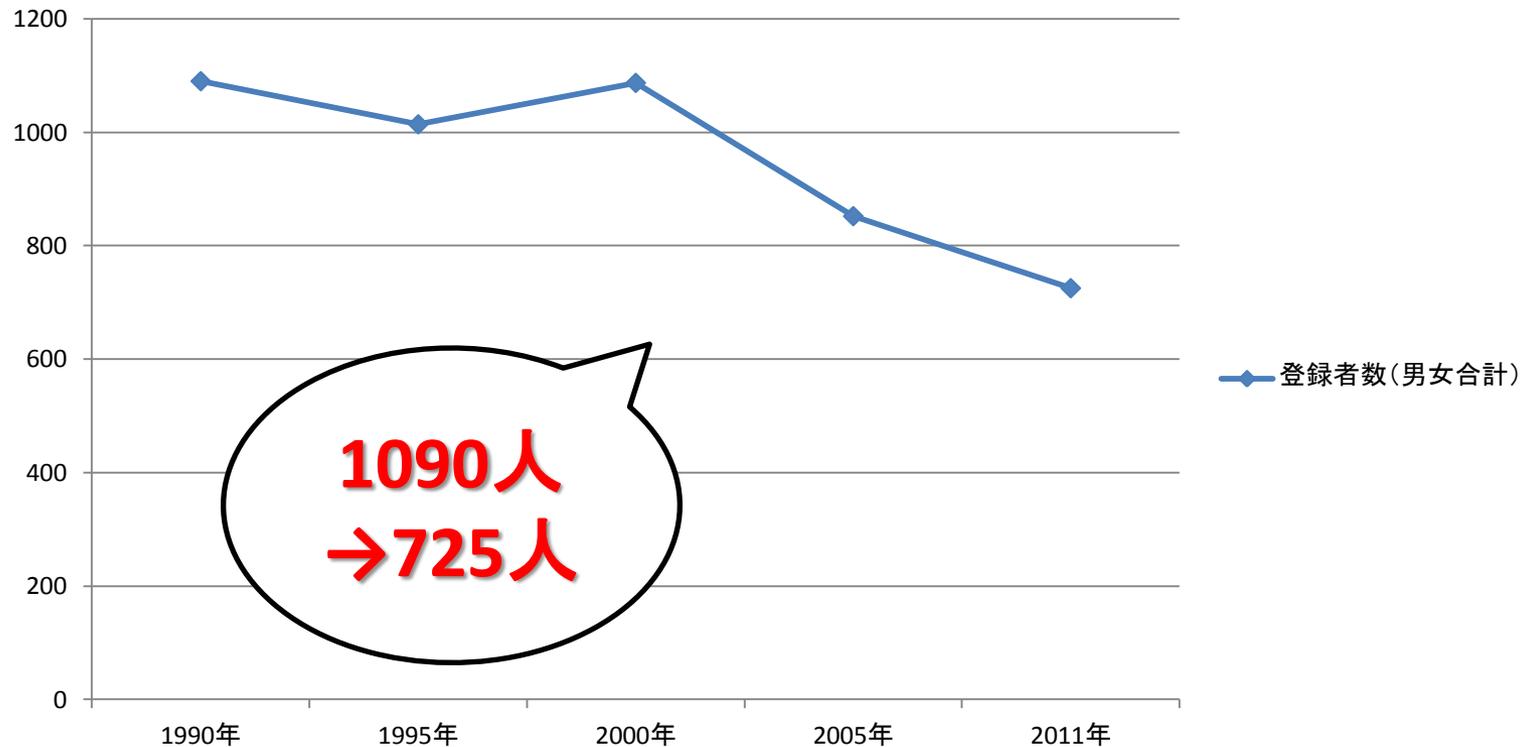
障害者総数→744万3000人

国民の約6%が何らかの障害を有している。  
(日本の総人口 1億2752万2千人)

「障害者白書2011」より

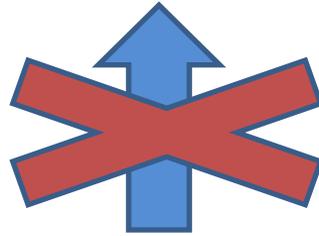
# 車椅子バスケットボール協会への 登録者数推移

## 登録者数(男女合計)



# 現状

広がらない  
障害者スポーツ



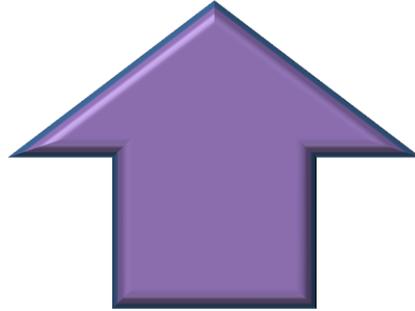
特別支援学校



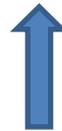
障がい児

# 支援策実施後

障害者スポーツの  
発展

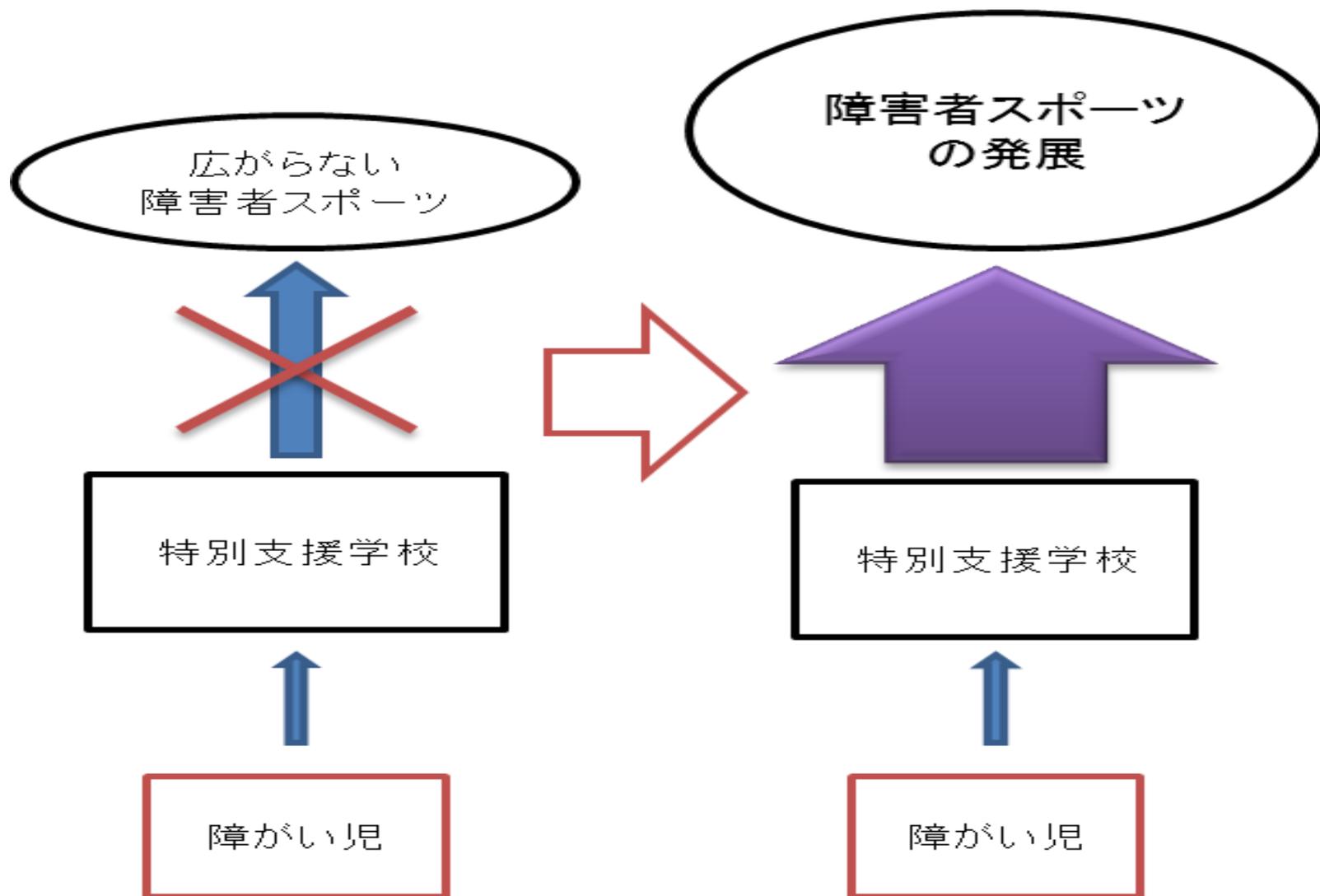


特別支援学校



障がい児

## 2. 障害者スポーツと特別支援学校



# ① 特別支援学校とは

- 幼稚園、小学校、中学校、高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上または生活上の困難を克服し、自立を図る為に必要な知識、技能を授けることを目的とした学校。

## ② 特別支援学校とは

- 視覚障害
- 聴覚障害
- 知的障害
- 肢体不自由
- 病弱

# 3.特別支援学校の実態

## (1)調査概要

【場所】東京都立久留米特別支援校

【時期】9月8日

【方法】ヒアリング調査

【主旨】病弱の学校の体育教員から、特別支援学校に通う子ども達の実態についてヒアリング調査を行う。そこで聞いた実態を参考にしながら、障害種を越えた特別支援学校全体に還元出来る施策を打ち出す。

# ●東京都立久留米特別支援学校

①週に3回体育の授業を行う

②グラウンド、体育館、プールを使用。

③体育に対する意識

- 比べられることで劣等感を抱く。
- 「自分は出来ない」と思い込む。



障がい児

遠い存在

アクセシビリティの問題？！

体育

## 4.障害者スポーツとアクセシビリティ

- アクセシビリティ

→近づきやすさ、接近可能性

- ハード面

→物理的側面

(距離、施設、設備等)

- ソフト面

→心理的側面

(パーソナル、ソーシャル、メディア)

## ②アクセシビリティから見た特別支援 学校の実態

(1)ハード面(物理的側面)

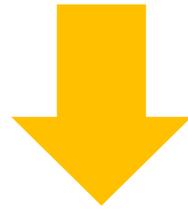
→○施設

△指導者

(2)ソフト面(心理的側面)

→×体育に対して、苦手意識を持つ子どもが多い

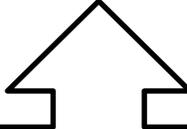
ソフト面向上のために、  
授業の改善が必要！



苦手意識をなくすためのプロ  
グラムと、それをサポートす  
る人員が必要！

## 5.支援策

- 「特別支援学校・スポーツすすめ隊」制度の創立



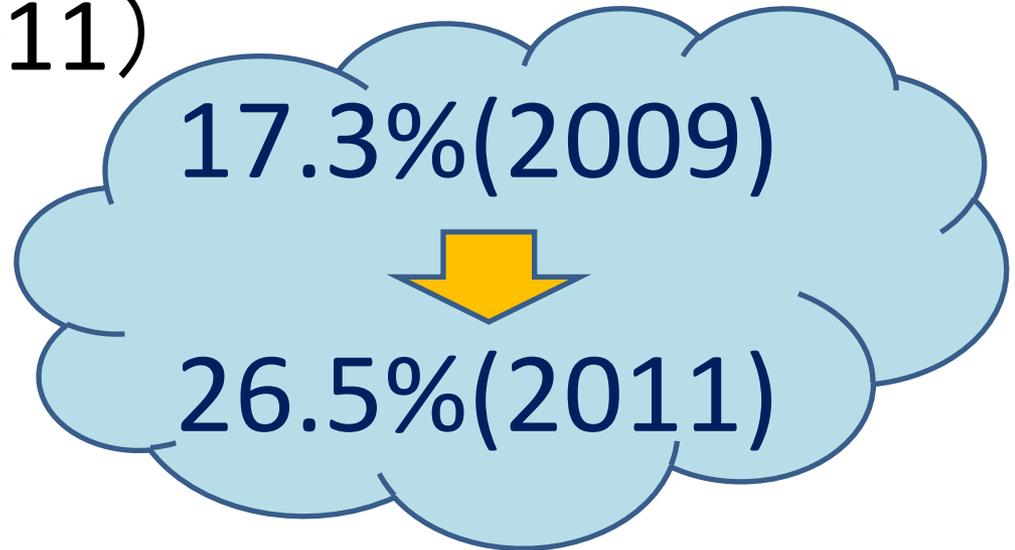
ボランティアを特別支援学校へ派遣する制度

- ・ソフト面向上のためのプログラム理解力
- ・時間的余裕



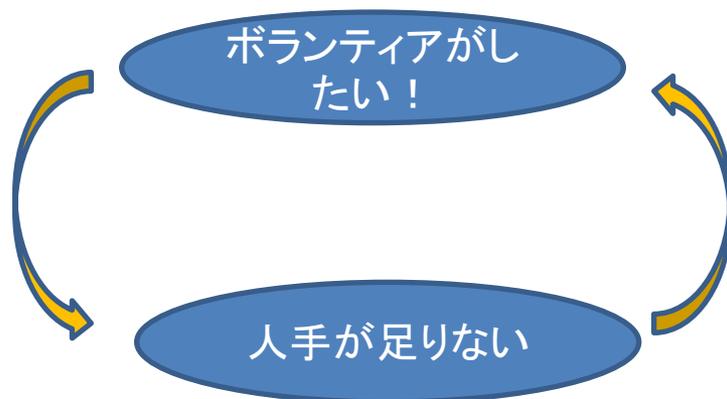
大学生

- ・ボランティアへの興味が増加傾向  
(学生生活白書2011)



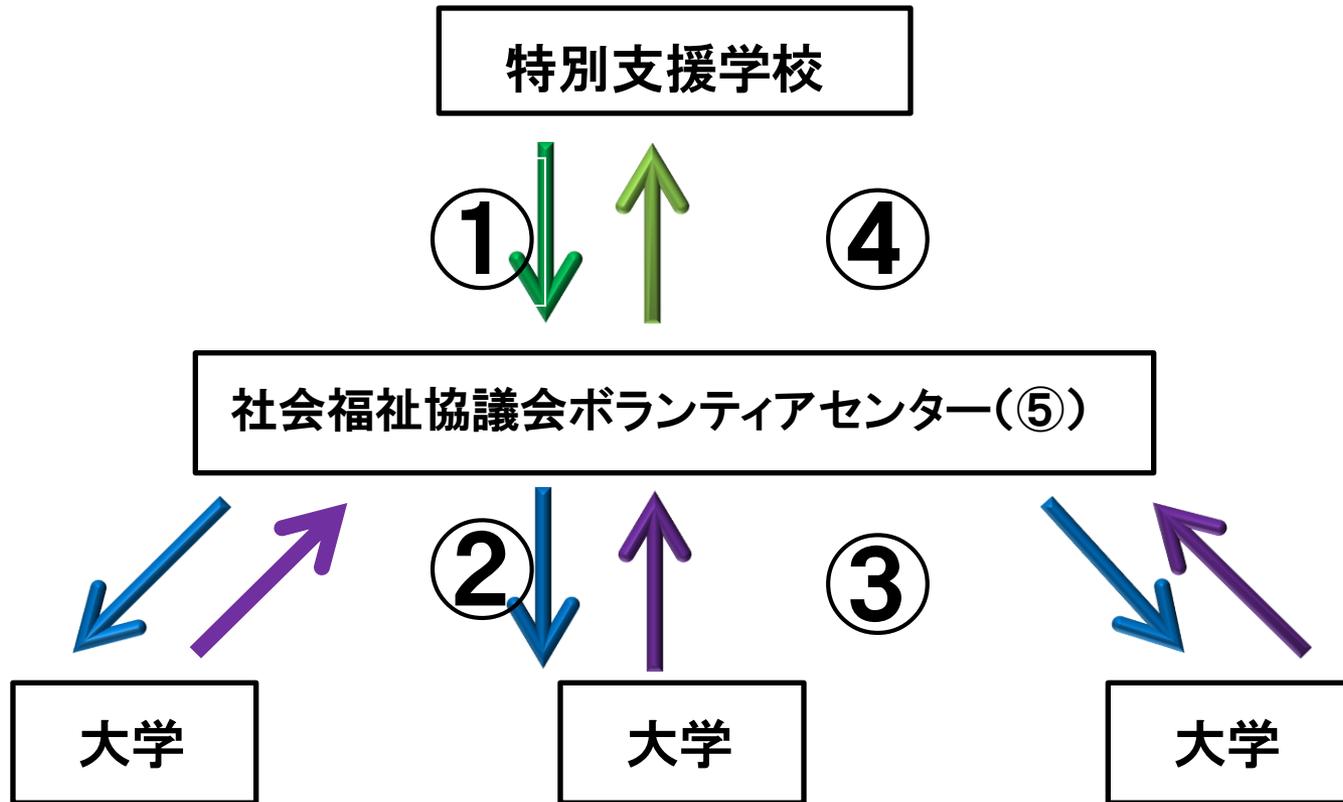
→ ボランティアがしたい！  
大学生のニーズ

→ 人手が足りないために、  
人材が欲しい！  
特別支援学校のニーズ



双方のニーズ  
を満たす

# 制度の仕組み



# ⑤での事前研修について

事前研修を行う目的



ボランティア本番で学ぶのではなく、  
事前に「学び」、  
「支援」をできるようにするため。

## ⑤での事前研修について

- このボランティアが開設された経緯・目的を伝える  
→ **アクセシビリティの知識説明**
- 基本的知識(ボランティア先の特支の情報・特支の種類に対応した障害の知識やその対応方法etc)
- 具体的な体育の指導法
  - i) アクセシビリティのレベル向上のためのメディア的アプローチ
  - ii) 自信を持たせるためのパーソナル的アプローチ

# 具体的な体育の指導法

i) アクセシビリティのレベル向上のための  
メディア的アプローチ



楽しそうだ！  
やってみたい！



# 具体的な体育の指導法

## ii) 自信を持たせるためのパーソナル的アップ

ほめられ  
もっとやってみよう！

できないからって  
焦らなくていいんだ！

上手にできたね！

アスでいいんだよ！

楽しく取り組もうね！

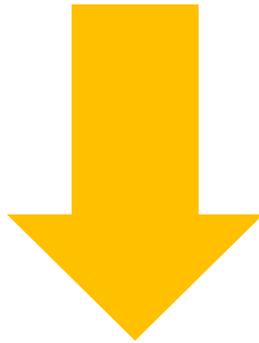
競争じゃないんだ！



## 6.期待される効果①

<即効性のある効果>

- ・ソフト面向上のための「楽しい」体育を通して苦手意識の軽減。



ソフト面の充実

## 6.期待される効果②

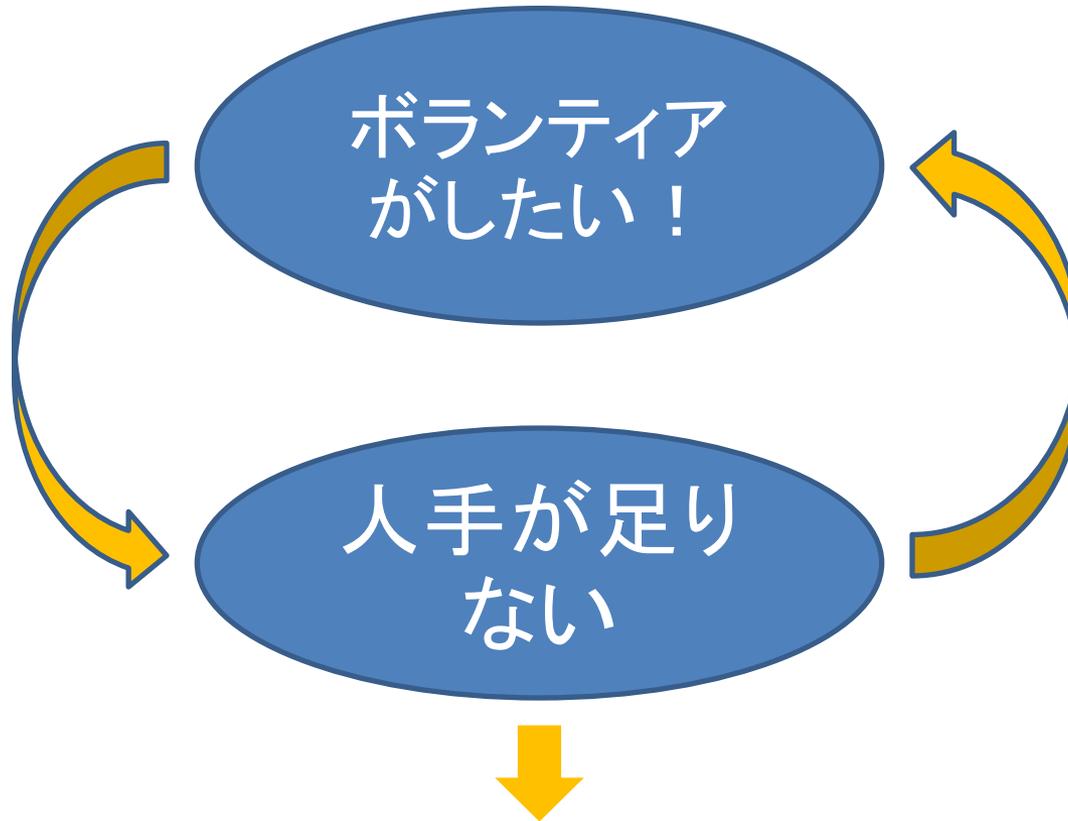
### <将来的な効果>

- 特別支援学校での体育の充実化をはかることによって、スポーツへのアクセシビリティが向上。
- 学校卒業後もスポーツに接しやすくなる。



成人後のスポーツ実施率の上昇

## 6.期待される効果③



大学生ボランティアの意欲充足と活用

# まとめ



## <資料・文献>

- 学生生活白書2011  
<http://www.shidairen.or.jp/blog/files/doc/11gakuseihakusho.pdf> (2011/09/19)
- 文部科学省HP <http://www.mext.go.jp/>  
(2011/09/08)
- 岡田徹・高橋紘士(2005)「コミュニティ福祉学入門」有斐閣

ご静聴ありがとうございました。